

主 日 礼 拜

	①8時半	②10時半	③19時
司 会	①石井 師	②白川 達男兄	③石井 師

奏 樂
祈 禱 ①石井師 ②石井 秀人兄 ③石井師

賛美聖歌 424 番 & ～インマヌエル麗しい御名～

使徒信條
聖書

①コリント人への第一の手紙15章50～58節
②ピリピ人への手紙2章1～11節

特別賛美
メッセージ

聖歌隊有志 「いつくしみ深き」
①「いつも全力で励みなさい」大川従道牧師
②「神にすべてを委ねる人生」石井 潤牧師

献祝 金祷

聖歌467番 ～主は御座におられる～

〔献金当番：渡辺姉・寺澤千姉〕

お知らせ
賛 美

~The Family Song~

【司会者】

礼拝にお越しくくださった皆様を心よりご歓迎いたします！
《今週のお知らせ》

1. 本日昼食後1時～、聖歌隊の練習が行われます。楽しく賛美致しましょう！
2. 今週の祈禱会は、☆早天祈禱会:月曜朝6時。☆木曜祈禱会:①午前10時半、②夜7時半。久保田豊師(大和祈禱会映像)。☆準備祈禱会:土曜夜8時。
3. 明日午後1時～、千曲市の小山姉宅にてバイブルスタディが行われます。
4. 木曜午後2時～、上田市大手の石井兄姉宅にて家庭集会が行われます。
5. 来週の日曜は「敬老祝福礼拝&祝賀会」です。午後は森脇弘隆兄の講演。

9/26(木):WOGA 集会 29(日):映画会「パウロ」

一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [9/15~/22]

[illegible]

「神にすべてを委ねる人生」

～私たちがこの世で輝くために！～

「そういうわけで、愛する皆さん。どうか、いつも従順であったように、私がそばにいる時だけでなく、私がいなくても今はなお従順でいて、恐れおののき、自分の救いの完成に励みなさい。とは言っても、自力でそれをするのではない。神はいつも、御心のままに、あなたがたのうちに働き、あなたがたが志を立て、善い業を行うことができるようにしてくださる。どんなことでも、つぶやいたり疑ったりせずに行いなさい。それは、あなたがたが非難されるところのない純真な者となり、また、曲った邪惡な今の世の中において、傷の無い神の子供となり、この世の中で光となって輝くためである。」

ピリピン人への手紙2章12-15節 〔現代訳〕

「自分の救いの達成に努めなさい」と12節に書かれていることは、その解釈に悩まされます。基督教の「救い」は、自力ではなく、ただ、イエス様の十字架の贖いを信じることで救われるので、自分の力で救いを実現するものではありません。しかし、どうしてここでパウロは「自分の救いの達成に努めなさい」と書いたのか。

以前にお聞きしたルリ子先生のメッセージの中で、この救いとは、靈的な救いのことではなく、魂の救いであるということ。聖書の注解書にも「『自分の救い』は、『靈的に健康な状態』を指すのではなく、魂の救いを指す。『達成に努めなさい』には、『働く、努力する』のニュアンスがある。罪人の救いは、律法を行うことによってではなく、キリストを信じることによる。いわゆる『救い』あるいは『救われた』と言う信仰の出発点を、神学用語で『義認』と呼ぶが、12節の『救い』はこのことではない。キリストを信じて、キリスト者となった者の罪との闘いを『聖化』と呼ぶが、12節で取り上げているのがこのことである。具体的には、自己中心や虚栄を捨て、主にある一致を達成すること。（補足：『努めなさい』のギリシャ語 *κατεργάζομαι* (カテルガゾーマイ) の意味は『成し遂げる』『生じさせる』、英語の聖書は『keep on working (TEV)』)」と書かれていました。「聖化」という面において、私たちも天国に入るその時まで、継続して努力が必要なのだということです。

しかし、次の13節に上記の現代訳聖書では「とは言っても、自力でそれをするのではない。神はいつも、御心のままに、あなたがたのうちに働き、あなたがたが志を立て、善い業を行うことができるようにしてくださる。」と書かれているように、私たちの努力自体も、神様ご自身が素晴らしい形へと実現してくださるのだとパウロは語っています。

第一コリント書でも「だから、愛する兄弟たちよ。堅く立って動かされず、いつも全力を注いで主のわざに励みなさい。主にあっては、あなたがたの労苦がむだになることはない、あなたがたは知っているからである。(15章58節)」とパウロは語っています。私たちには思うように行かない時もありますが、希望は主にあります。すべてを主に委ねて進んでいきましょう！